

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月23日	記入者		連絡先	内線5670
平成18年度部名	保健所	課名	中央保健センター	課長名	鈴木 豊子
平成19年度部名	保健所	課名	健康企画課	課長名	川上 宏
事務事業名	地域住民検診精度管理事業				
予算上の事務事業名	生活習慣病対策事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				
施策名	第2施策 保健サービスの充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	老人保健法第16条、保健事業実施要領(国)、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(国)、基本健康診査実施要領(市)、がん施設検診実施要綱(市)、がん集団検診実施要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市保健医療計画 相模原市高齢者保健福祉計画(第3期)		心臓病、脳卒中等の生活習慣病の早期発見・保健指導等、がんの早期発見・早期治療等のため、健康診査・検診を行う。		
計画年次	14 18	年度～	22 20	年度	
4 事業形態の区分	サービス提供		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
(1) 市が医師会に委託している基本健康診査・がん検診が、適切な精度管理の下に行われるとともに、更に精度が高まることを期待して市医師会に助成するもの。				(2) 対象(誰、何)	
(2) 相模原市医師会					
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
市医師会において、次の委員会、部会等を開催し、検診の精度管理、問題点等の討議検討を行うとともに、がん発見の精度を高めるため多くの医師により読影を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健委員会：1回</li> <li>・基本健康診査：部会2回</li> <li>・胃がん検診：読影会48回、検診部会2回</li> <li>・子宮がん検診：登録検討会12回、検診部会2回</li> <li>・肺がん検診：読影会24回、検診部会3回</li> <li>・乳がん検診：読影会23回、検診部会3回</li> <li>・大腸がん検診：読影会20回、検診部会2回</li> </ul>					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	他市においても、検診の精度管理等については、同様な趣旨で医師会へ支出している例がある。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	24,095	24,141	24,364	44,280	24,400
一般財源	24,095	24,141	24,364	44,280	24,400
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	24,095	24,141	24,364	44,280	24,400
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率	事業名 (主たる事業名) 地域住民検診事業補助金				
	対象名称 と単位		基本健康診査・がん施設 検診受診者数(延人数)		
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	23,085	23,848	24,068	43,995	24,100
対 象 数	99,108	104,060	114,976	133,460	140,000
単位あたり経費(円)	233	229	209	330	172
前 年 度 比		0.98	0.91	1.57	0.52

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	委員会・部会開催数（延回数）	指標式と指標の説明		委員会・部会開催数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	141.0	151.0	142.0		
目標	150.0	150.0	154.0	154.0	154.0
目標達成度（%）	94.0	100.7	92.2		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	がん発見率（% × 10 <sup>3</sup> ）	指標式と指標の説明		がん施設検診における（がん確定者数 / がん検診受診者数） × 10 <sup>5</sup>	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	232.0	188.0	169.0		
目標	117.0	117.0	117.0	117.0	117.0
目標達成度（%）	198.3	160.7	144.4		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	: 良好な状態を維持する事業			
	[ ]	: 概ね良好な状況である事業			
	[ ]	: 見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		生活習慣病の予防、がんの早期発見・早期治療により、市民が快適な生活を送ることができ、その結果として医療費の削減につながる施策を取るとは、行政の責務である。今後、検診の精度管理等について市医師会の活動に助成し更なる事業効果を挙げる必要があると考える。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
がん検診受診券の1枚化（19年度から実施）をテコに、受診勧奨通知を受診券送付へ変更するなど、受診しやすい状況を作り出すことにより受診率を上げ、がん発見率を高める。			今後、検診委託費と補助金との区別およびそのあり方について、研究していく必要があると考える。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課長による評価のとおり、医療費削減につながる施策であることから、多角的に検証し事業の実進を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			